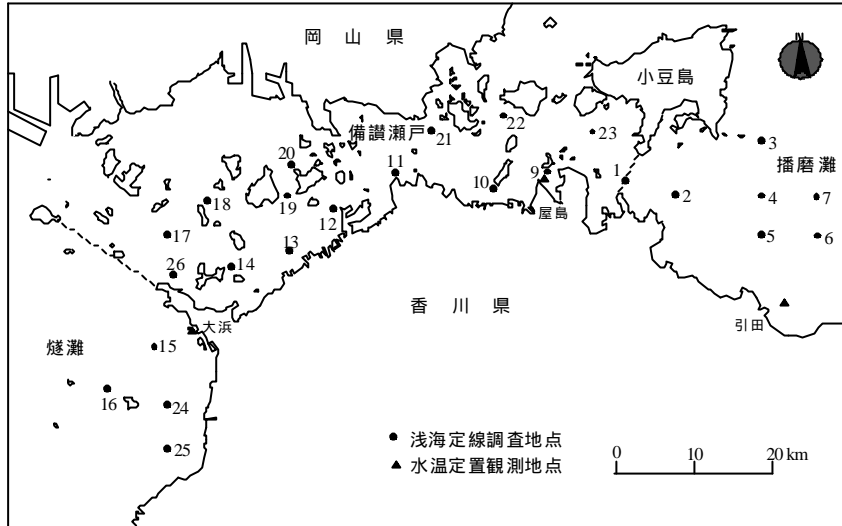


香川県漁海況速報 平成14年5月 (H14- 2号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成14年5月2日(播磨灘)、13日(備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや高めから著しく高め」、塩分は「平年並みからやや高め」、透明度は「かなり低めから平年並み」、溶存酸素は「かなり低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	14.6	14.1	12.7	32.5	32.6	32.8	7.9	6.00	5.46
	平年値	13.8	13.1	12.0	32.2	32.2	32.2	8.4	6.14	5.54
	平年偏差	0.8	1.1	0.7	0.3	0.4	0.5	-0.5	-0.14	-0.08
	状況	やや高め	かなり高め	やや高め	平年並み	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	15.1	14.9	14.8	32.3	32.3	32.4	4.0	5.42	5.46
	平年値	13.9	13.5	13.6	32.4	32.4	32.7	5.6	5.69	5.66
	平年偏差	1.3	1.4	1.2	-0.1	-0.1	-0.3	-1.6	-0.27	-0.20
	状況	著しく高め	著しく高め	著しく高め	平年並み	平年並み	やや低め	かなり低め	やや低め	平年並み
燧灘	4地点平均値	17.2	14.6	13.8	32.9	33.1	33.4	8.4	5.89	4.59
	平年値	15.4	13.4	12.4	32.6	32.8	33.0	9.5	5.80	5.27
	平年偏差	1.8	1.2	1.3	0.3	0.3	0.3	-1.1	0.09	-0.68
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	平年並み	やや高め	やや低め	平年並み	かなり低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成8(1996)年度

透明度：昭和58(1983)～平成8(1996)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差
		: 標準偏差

海域によって調査日の間隔が開いているため、等値線図は作成しないこととする。

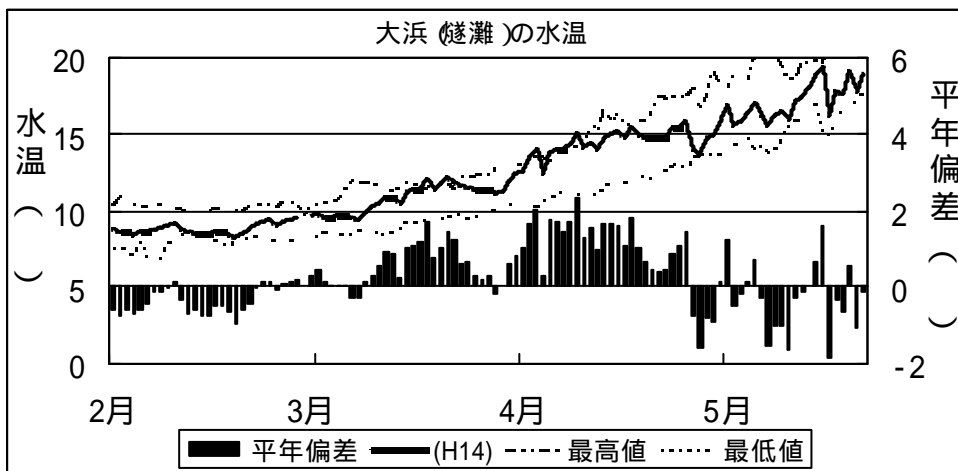
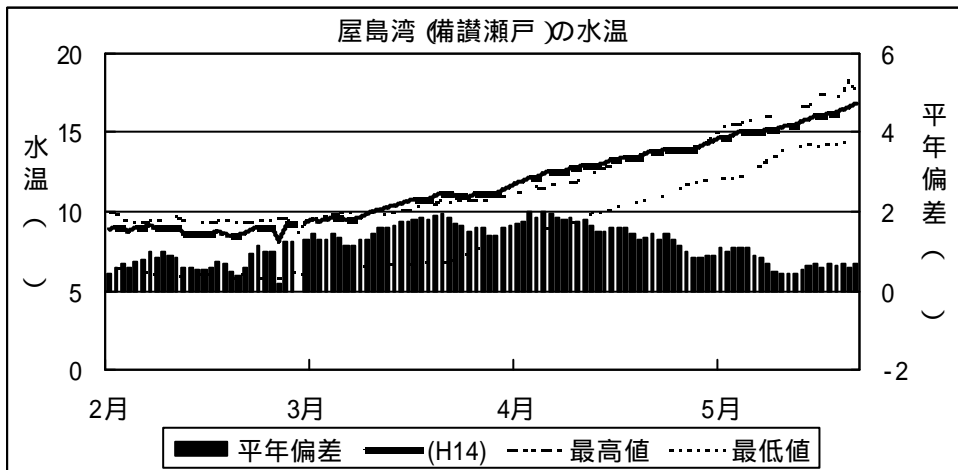
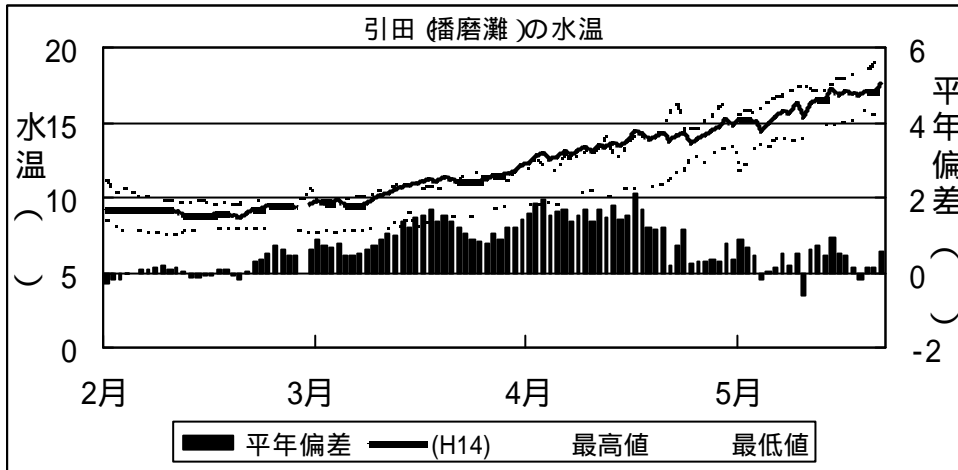
2) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 2月下旬から平年より高く推移していたが、4月下旬から平年偏差が小さくなり、5月に入ってから-0.6 ~ 1 の範囲で変動している。

備讃瀬戸(屋島): 1月中旬以降、平年より高くなり、3月から4月中旬まで平年偏差が2程度で推移しその後減少に転じ、5月中旬以降0.6前後で推移している。

燧灘(大浜): 3月中旬以降平年より高くなり、4月には最大で2を超える平年偏差があったが、下旬以降減少に転じ、-1.9 ~ 1.6 の範囲で変動している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989) ~ 平成12(2000)年
屋島: 昭和50(1975) ~ 平成12(2000)年



3) 赤潮

播磨灘：発生なし。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：5月中旬に北西部で *Heterosigmaakashio* による赤潮が局地的に発生している。

4) 卵稚仔

調査日：平成14年5月2日（播磨灘）、13日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	7.00	0.38	0.00	0.00	0.00	0.00	31.25	8.00
備讃瀬戸平均	0.57	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00	16.79	5.14
燧灘平均	0.29	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	4.86	3.00
総平均	2.28	0.24	0.00	0.00	0.00	0.00	17.90	0.00

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	81.8%	194.1%	0.0%	0.0%
備讃瀬戸平均	66.9%	86.2%	0.0%	0.0%
燧灘平均	0.7%	13.3%	0.0%	0.0%
総平均	19.4%	56.5%	0.0%	0.0%

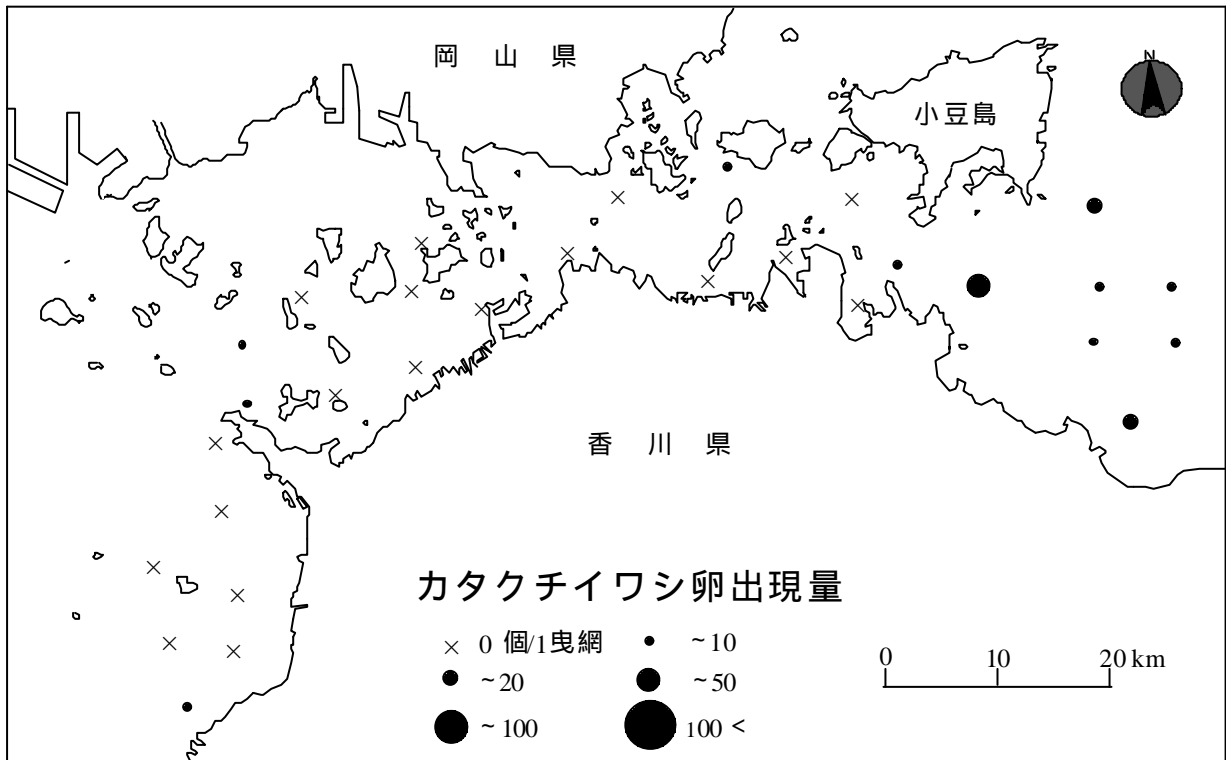
- : 平年値が0の場合を示す。

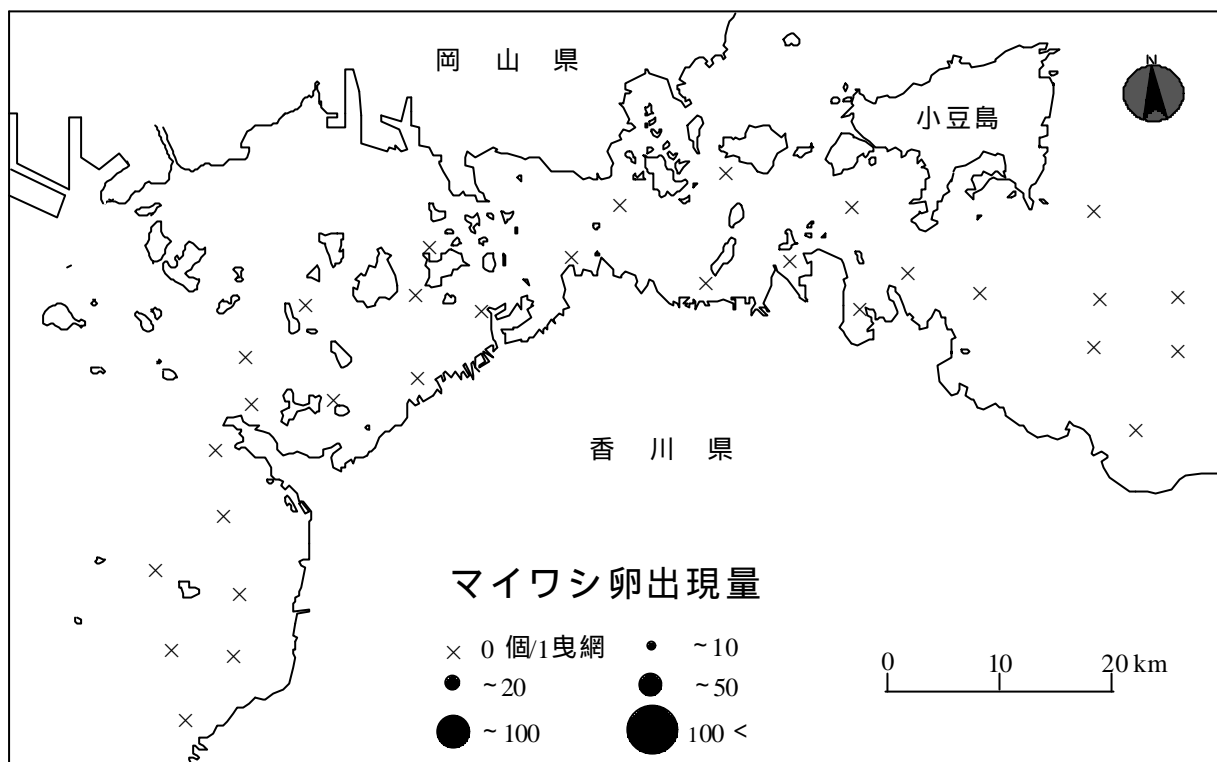
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成12（2000）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成12（2000）年度

カタクチイワシの卵稚仔は燧灘で少なかった。マイワシの卵稚仔は、全ての調査地点で採集されなかった。





2. 漁況

4月からの漁況は次のとおりである

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底曳き網では主にスズキ、ウマヅラハギ、テナガダコが漁獲されている。</p> <p>柵網では主にマダイ、スズキ、ボラ類、コノシロ、ウマヅラハギ、コウイカ類が漁獲されている。</p> <p>建網では主にシャコ、ウシノシタ類、ヒラメが漁獲されている。</p> <p>サワラ流し刺網は4月25日から漁が開始され、漁獲量は5～10尾/日/隻程度と前年と比較して好調である。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底曳き網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、イイダコ、マダイ、マアナゴが漁獲されている。</p> <p>高松・庵治沖のイカナゴ込網の4月の漁獲はフグ主体の漁となったこともあって、イカナゴの漁獲量は前年の22%と低調である。</p>
燧 灘	<p>底曳き網では主に小型エビ類、メイタガレイ、シャコ、コノシロ、ヒラメ、テナガダコが漁獲されている。</p> <p>柵網では主にマダイ、ウマヅラハギ、スズキ、クロダイが漁獲されている。</p> <p>サヨリ機船船びき網は漁期当初に比べて若干漁獲量は減少したが、100～120 kg/日・隻の漁獲がある。</p>